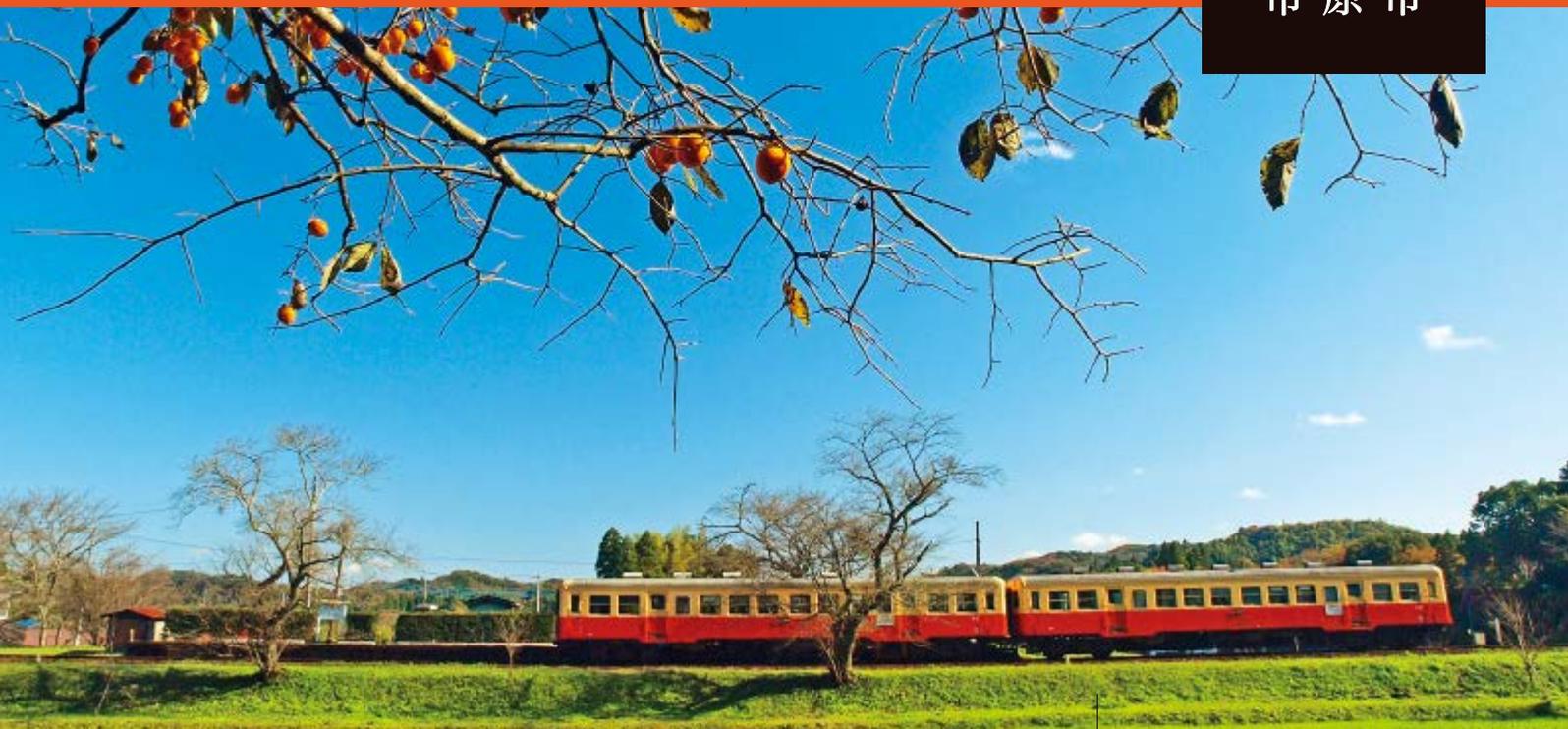


企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

千葉県

市原市



ローカル鉄道で巡る自然豊かな温泉郷、奈良時代の史跡と工場夜景をともに訪ねる。

温暖な房総半島に位置し、2,500もの縄文・弥生時代の史跡や45の貝塚もある市原市。古くから文化や行政の中心として栄えていました。市を縦断する養老川は、江戸から大正時代にかけて物資輸送に利用され、現在は川沿いをローカル線の小湊鉄道が並走し、のどかな里山や渓谷の風景が楽しめます。1957(昭和32)年からは臨海部が埋め立てられ、国内有数の工業地帯としても発展してきました。



取材・写真協力：一般社団法人 市原市観光協会
市原市教育委員会、小湊鉄道株式会社

① 小湊鉄道

クリーム色と朱色の車体でおなじみの小湊鉄道は、市を縦断するレトロなローカル線。1925(大正14)年開通当時の木造駅舎や橋梁も残り、沿線にはのどかな里山の風景が広がっています。



② 市原ぞうの国

約100種類の動物とふれあえる動物園。毎日開催される「ぞうさんショー」では、愛らしいぞうの「お絵描き」やダンスなどのパフォーマンスがあり、背中に乗ることもできます。



③ 養老渓谷

房総の奥座敷、養老渓谷には温泉郷や滝など、数々の景勝が点在します。温暖な気候のため、紅葉の見頃は例年11月下旬~12月上旬。多くのハイカーや行楽客で賑わいます。



④ 史跡上総国分寺・国分尼寺跡

奈良時代、この辺りが上総国の政治・文化の中心地であったことを示す国指定の史跡です。国分尼寺跡では中門と回廊が復元公開され、秋には「市原市菊花展」が催されます。



⑤ 養老川臨海公園

東京湾をのぞむ遊歩道や松林、野球場が整備されています。周りを取り囲む石油コンビナートなどの工場夜景は幻想的で、注目の観光スポットになっています。